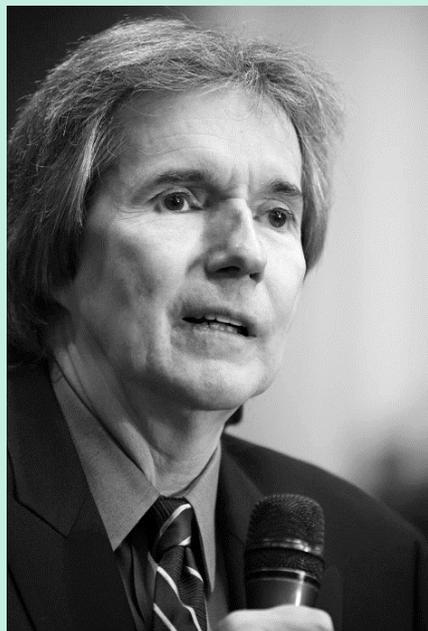


A Happy New Year!

明けましておめでとうございます。



ビル・ウィルソン師からの最新情報

銃撃を受けシリアから逃れて3ヶ月近くになります。銃撃されてエルサレムへ運ばれる間も、紛争の続くその地に残された子どもたちやその家族のことが非常に気がかりでした。実感していただいたとおり、戦いは、さまざまに形を変え規模を変え、やってきます。

私のことをご案内くださるEメール、電話、お手紙がどれほどたくさん寄せられたかわからないほどです。いつも申し上げていますが、この気持ちは「ありがとう」という言葉では表現できないと思う一方、この言葉を何度でも繰り返したい、いくら繰り返しても言い足りない、痛感しています。

私の体調に関するご報告

まず私の体調についてですが、穴の開いた右肺の回復は順調で、出血は止まりました。それでもまだ、時折咯血しますが、目を追ってよくなっています。

しかし頭蓋骨に入ったヒビと脳震とうの状態は思わしくありません。ご存じのとおり、50年にわたる伝道の現場活動の中で脳震とうは今回が5回目です。先週、あらためてMRI検査を受診しましたが、医師団の最大の懸念はこの脳の状態、早期回復のために手を打てることはほとんどないため経過観察するしかありません。そこは、常々私たちが

信じると言っているものを信じるか信じないかです。司られるのは神様であり、今も神様が働いておられます。

OHHのご支援に心から感謝します

次にお伝えしたいのは、オペレーションホリデーホープ(OHH)の最新状況です。ご存じのとおり、私たちにとってOHHは、世界規模で行う伝道活動で、一年で最大の働きです。国によってクリスマス祝う時期が異なることはご存じかと思いますが、ほとんどの国でクリスマスシーズンが終わっている一方、最後の開催地となるエチオピアでは、1月7日がクリスマスです。これは、ユリウス暦を採用しているからで、年もまだ2010年です。クリスマスは1月7日なのです。ですから、1月7日にエチオピアで日曜学校を開催するまでOHHの取り組みは続きます。

しかし実に嬉しいことに、大都市から小さな村々まで各地から、既に多くの救いの報告が入ってきています。福音に触れた家族全員が救われ、キリストに人生を捧げる決意をする…そう、それこそがOHHの神髄です。こういった成果は、FacebookやTwitterなどでもご確認いただけます。あなたの献身的な思い、真心、犠牲的精神、祈り…これらのお陰で、今回の非常事態の中でもOHHが実現できているのをご覧ください。これこそ、働きにおけるパートナーシップの力なのです。

2018年の世界ツアーについて

最後にお話したいのは2018年のツアーについてです。もう準備が始まっており、もちろん今回も全力を尽くします。2018年のテーマは「一人の子ども、一つのチャンス、あなたの選択」-ONE CHILD, ONE CHANCE, YOUR CHOICE.-です。今年、あなたの国、あなたの地域でさらに多くの人々と出会い、さらに多くの人々に関心を抱いていただき、他の団体が足を踏み入れることのない数々の地域で新たにメトロの日曜学校を始めることができるよう願っています。

次ページへ続く

OHH 献金!

OHHの献金をしていただける場合は、
メトロの郵便振替口座(ゆうちょ銀行の口座)へ
OHHのためにとご記入の上、
お振り込みください。
口座番号は、最終ページをご覧ください

今月号の目次

- P2…ビル・ウィルソン師の状況報告のつづき/セミナー案内
- P3…フィリピン訪問レポート
- P4…フィリピン視察ツアー案内
- P5…今年のイベント一覧
- P6…日本事務所からのお知らせ/連絡先など基本情報

前ページからの続き

実は、2018年、私は伝道生活の上でも個人的にも、人生の大きな節目を迎えます。今年は、フルタイムの献身生活50周年ですし、10月の誕生日で70歳になります。この節目を祝おうと、既に世界各地の友人たちがメールやメッセージを寄せてくれています。もしあなたも何かご提案がありましたらぜひお聞かせください。

私のクリスマス

クリスマス・イブの夜は、毎年できる限りの多くの皆さんに電話をしています。子どもの頃に母に捨てられた、まさにその街角に佇んで。一晩中そこに座って電話をし、人々のために祈るのです…じっくり自らと向き合いながら。私にとって大事な時間です。ただ、あなたのために祈り、あなたを思い、そして、神様があなたと共におられ、新しい年を実り多きよりよい年としてくださると確信していることを、あなたに伝えたいのです。

私を励まし、祈り、子どもたちのために贈り物をしてくださった皆さん全員に感謝の言葉を伝えることはできません。しかしその贈り物が犠牲を伴うものであることはわかっていますし、そのお陰で子どもたちはクリスマスを迎えられ、クリスマスの本当の意味を知り、自らの救い主としてキリストを受け入れるチャンスを手にすることができるのです。そして、ご協力のお陰で、ゴールまであと一歩のところまで来ています。

もし、これまで機会がなく、子どもたちのクリスマスに

協力したくてもできなかったのでしたら、今からでも献金をしていただければ、感謝です。

2018年の抱負

2018年、さらなる前進に向けて私は全力を尽くしますし、私自身についても伝道活動についても、そして今や世界最大の日曜学校となったこの働きについても、皆さんに定期的にご報告を差し上げます。

子どもたちからも、世界中のメトロスタッフからも、もちろん私からも申し上げます。祝福された1年になりますように！あなたのご想像よりもずっとずっと、私はあなたのことを愛しています。私は前進を続けています。あなたも同じはずです。共に前進することで、関わる20万人以上の子どもたちにとって、メトロの働きはまったく新しい意味を持つことになるのです。

あらためて、感謝します。あらためて、祝福をお祈りします。世界中で支えてくださる皆さんに心からの感謝をしつつ、

あなたの、そして私たちの神、救い主イエス・キリストの仕事をさせていただいている者として、



メトロ・ワールド・チャイルド代表
ビル・ウィルソン

セミナーでお会いしましょう

今年も日本に行くチャンスが与えられて感謝しています。

日程は6月末から7月8日(日)までの予定です。

場所や日程の調整は、今から万代牧師が始めてくれる予定ですが、皆様の強いご要望や、教会での特別集会などのご希望がありましたら、よい日程から埋まっていきますので、ぜひお早めにお知らせください。

日本で、ひとりでも多くの皆様にお会いして、お祈りとご支援のお礼を申し上げたいと願っております。

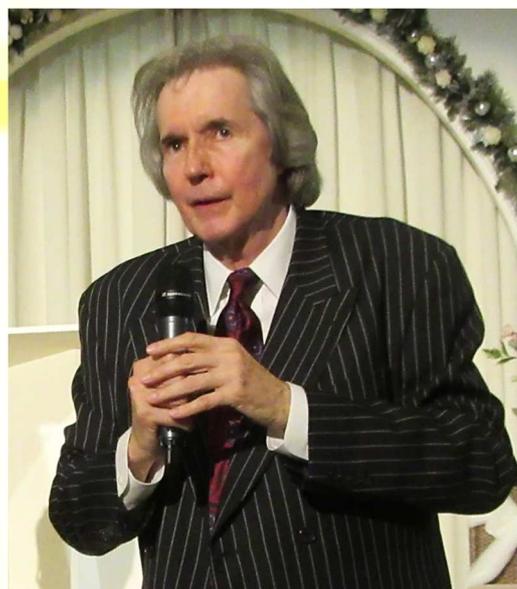
また、教会の霊的成長や、新鮮な恵み、伝道の意欲を呼び覚ますためにも、ぜひこのチャンスをお役立てください。

ご参加いただいた方々には、毎回大変喜んでいただいているのですが、日本では、他の国と比較して、セミナーへの動員が非常に難しいため、参加された方々から、もっと多くの方々に参加していただきたいというお声をいつもいただいています。

私たちが最大限努力いたしますが、皆様も、ぜひ教会の兄弟姉妹や身近な方々に今からアプローチして、集会に来られる方がひとりでも増えるようご協力をお願いします。

私たちのパートナーシップの力をこのセミナーでも発揮していただきたいと切に願っています。

各会場で皆様とお会いできることを楽しみにしています。



フィリピン訪問レポート

今回は、日本在住のフィリピンご出身の西脇テレシア様からのご報告を掲載します。

西脇様の娘さんが、フィリピンのインターンシップに行かれていたので、ご見学に行かれましたが、それ以外にたくさんの収穫があったようです。

2017年の10月20日(金)～21日(土)に、フィリピンのマニラにあるメトロ・ワールド・チャイルドのオフィスを訪ねました。20日(金)の朝7:30に集合でしたが、私が滞在していた母の家から、混んでなければ30分で行ける距離ですが、フィリピンはいつもひどい交通渋滞なので、5:30に家を出ました。実は、フィリピンの実家に滞在中は、毎日大変忙しくて、疲れ果てていて、行く気が失せていました。30パーセントは行きたくないという肉の思いがありましたが、70パーセントは、神様に行くように言われていると示されていたので、重い腰を上げました。オフィスで、インターン生として奉仕している娘の泉と、前日の夜に日本から来ていた同じ教会のみちる姉妹にも会いました。

私は、寝不足とひどい頭痛で気分が悪い中、リーダーのハンナさんが朝のディポジションをスタッフの前でやってくれました。ヨハネによる福音書8章44節「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです」。そのメッセージは、私の心に響きました。私の気分を悪くさせていたのはサタンの策略だと実感しました。私は、このメッセージを一日中思い出し、体と魂の弱さと戦い、力をいただきました。

その日は朝8時にオフィスを出発して、トンドに行きました。トンドは、スモーキーマウンテンと言われるゴミの山があるスラムです。そこに住んでいるエルマさんというボランティアスタッフの家でお祈りをしてから、二、三人のグループに分かれて、チラシ配りをしました。また、そこに住んでいる子供たちの家を訪問しました。

その時あるご夫婦に、「何のチラシか」と聞かれたので、道端教会学校の案内をしたところ、二人ともクリスチャンだということでした。ご主人が病気になって働けなくなり、奥さんが面倒を見ないといけない状態で、バイブルスタディのボランティアができなくなり残念なので祈ってほしいと言われました。一緒にお祈りをしましたが、私も神様のために役立つことができ嬉しくなり励まされました。2時間ぐらいチラシ配りと訪問をして、お昼はエルマさんが作ってくれた食事をいただき、午後はノースセメタリーというお墓に行きました。そこに住んでいる子供たちの、教会学校をするためです。これが私にとって初めて見る道端教会学校でした。

急に私にもあるご奉仕を頼まれました。それはタガログ語の歌を歌うことでした。しかし、フィリピンに来てからずっと喉の調子が悪くて声が出なかったことと、タガログ語の子

どもの讚美も分からないため、悩みましたが、声が本当に出なかったので、そのご奉仕はお断りしました。すると、「じゃあ、この服を着て」と言われてドレスを渡されました。

この日のプログラムは、フィリピンのテレビで流行っている、一般の人たちが歌うカラオケコンテストをまねしたもので、子供たちは大盛り上がりでした。そこで私は、審査員役を任されたのです。男の子一人と女の子一人が前に出て、歌ってくれました。私は審査をしましたが、勝ち負けを言わず、どちらもほめてアドバイスをするように配慮しました。一時間のプログラムの中には、もちろん聖書のお話もあり、この日は、サタンがエバをだます場面でした。



西脇様も審査員役で急遽特別参加。右端が娘の泉さん

娘の泉がエバの役をやりました。泉は英語もタガログ語も上手になっていましたが、発音がまだ難しいようで、朝の車の中では、一緒にタガログ語の台詞の練習をしました。彼女が劇中で言う「Mamamatay kayo」という台詞の意味は、「あなたは死ぬでしょう」でしたが、娘は、「Mamamatay tayoy」(人殺し)と言ってしまい、笑ってごまかしていました。

この日はプログラムの最後に、一人2枚ずつ食パンを配りました。子供たちはお腹を空かせているので、その場ですぐに食べてしまいました。

次の日は土曜日で、メトロは一番忙しい日で、1日に3回、道端教会学校をします。朝6:30に出発して、7:30に現場のセットをしてチラシ配りをし、8:30から1回目の教会学校がスタートします。内容は前の日と同じです。この日、終了後に子どもたちに配る食べ物は、ボランティアに調理をお願いしていたご飯と焼きそばでした。

この日の2回目と3回目の教会学校は、前日にチラシ配りをしたトンドで行いました。3回目の時に、ある女の子と会いました。ジョアンナという子で、ちょっと他の子と違って、すぐに私になついてきて、抱っこをせがみました。「のどが渇いた」と言って、水をもらおうとしたり、他の女の子とけんかして髪の毛を引っ張ったり、一人1枚だけもらうご飯のチケットを5枚も持って隠したりしていました。私はそれを見ても、ジョアンナがひどい子だとは思えず、なぜこの子がそんなことするかを知りたくなり、私の心がいきなり悲しくなりました。



教会学校後の給食

その時、神様が私に、「あなたも10歳の子みたいに考えなさい」と語られました。そして、ジョアンナのために祈りたいと思い、手をジョアンナの頭に置いてお祈りをしました。お祈りが終わると、ジョアンナはどこかに行ってしまいましたが、すぐに戻って来て、隠していたチケットを返してくれたので、とても驚きました。その時私は言いました。「あなたは良い子だね。イエス様と私はあなたのことを愛しているよ」。それから、一緒に座ろうと誘いました。ずっと走り回っていたのに、彼女は、そばに座ってくれました。ずっと私の人差し指を握っていて、「ずっとそばにいて。どこも行かないで」と言いました。私は熱い思いがこみ上げ、涙があふれてきました。ジョアンナの素行は悪いのですが、彼女の目を見ると、天使のようでした。寂しい気持ちや愛されたいという願いが見えました。

私はもう一度、10歳の子どものように考えてみました。そして自分が子供の頃、貧しかったことを思い出しました。最初は、小学校に行くこともできませんでした。でも、経済的な援助をしてくれる人が現れて、学校に行くことができるよ



集会後に食パンを配る西脇母娘

うになりました。また、私には、ジョアンナと同じ10歳の娘、真由美がいます。もし、真由美がジョアンナのような生活をするようになったらと思うと…、考えるだけでも心が痛みました。

ジョアンナのことがとても気になったので、近所に住んでいるエルマさんに彼女のことを聞いてみました。すると、彼女の家庭環境はとても悪く、お父さんは刑務所で服役中、お母さんはいるけれど、仕事もせずに何か忙しくしていて、おばあちゃんがジョアンナたち二人の子供の面倒を見ているようでした。その状況では、とても生活費は足りません。私はそれを聞いて、ジョアンナのスポンサーになりたいと思いました。私は決して豊かなわけではありませんが、神様が望まれるなら、きっと支援できると信じます。持っている洋服や品物をフィリピンに送ることもできます。この経験で、私はいろいろな面で変えられ、もっとへりくだる必要を感じました。そして、再びトンドに行きたいという思いが与えられました。

今回訪問できたことを心から感謝します。



集会はいつも大盛り上がり

メトロ・フィリピン視察ツアーご案内

今年も、フィリピンの現地視察ツアーを開催します。

アメリカより、日程的にも金銭的にも大変参加しやすいと思いますので、ぜひご検討ください。参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。詳しい資料をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、8日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。

お知らせいただきたい内容

- ①お名前、②ご連絡先のお電話番号、③ご住所、④ご参加人数、⑤パスポートの有無

ツアー日程(仮)

- 4月5日(木) 日本出発(関東方面、時刻未定)
- 4月5日(木) マニラ着(現地時間、時刻未定)
- 4月6日(金) メトロ・スタッフ・ミーティング参加
- 4月6日(金) 子ども訪問または現地活動に同行
- 4月7日(土) 道端教会学校参加
- 4月8日(日)午前 礼拝参加
- 4月8日(日)午後 マニラ出発(現地時間、時刻未定)
- 4月8日(日)夜 日本着・解散(関東方面、時刻未定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

- *ツアー代金は、10万円前後、参加人数によって変動します。
- *お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配が必要です。
- *現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。
- *子どもさんとの面会をご希望の方は、事前にお知らせいただければ、現地のスタッフが調整いたします。

2018年の予定一覧表！

今年の予定を一覧表にしました。ご支援いただいている国の子どもさんへのプレゼントのご計画や、イベントのご参加のご予定をお考えいただくためにお役立てください。

それぞれのキャンペーンの前には、早めにご案内をお送りしますので、メトロレポートを毎月必ずご確認ください。

いずれも、強制ではありませんので、皆様のご都合に合わせてご参加いただければ結構です。

また、現地の視察ツアーは、実際に現地でのスタッフの働きを見学でき、ご支援いただいている子どもさんにお会いいただけるチャンスですので、今から日程を調整してぜひご参加ください。

* 急激な円安や円高になった場合は、金額を変更することがありますのでご了承ください。

月	日本の予定	アメリカの子ども用	フィリピンの子ども用	ケニアの子ども用
2月		イースターバスケットご案内 3月10日メ切 3,000円		
3月			学用品、奨学金ご案内 4月25日メ切 金額はリスト参照のこと	
4月	フィリピンツアー 開催	サマーキャンプご案内 5月29日メ切 25,000円	サマーキャンプご案内 5月29日メ切 11,000円	
5月				
6月	秋期インターン シップ案内	ブックバッグご案内 7月10日メ切 3,000円		
7月	セミナー開催			クリスマスカード 8月1日メ切
8月				サマーキャンプご案内 8月29日メ切 11,000円
				クリスマスプレゼントご案内 9月10日メ切 金額はリスト参照のこと
9月	来年度インターン シップ案内	ラブ・ボックスご案内 10月10日メ切 3,000円	クリスマスカード 10月14日メ切	
10月	アメリカツアー開 催	クリスマスプレゼントご案内 11月27日メ切	クリスマスプレゼントご案内 11月10日メ切 金額はリスト参照のこと	学用品、奨学金ご案内 11月20日メ切 金額はリスト参照のこと
11月		OHH 1,500円	OHH 1,500円	OHH 1,500円
12月				
2019 1月		バレンタインデーご案内 1月25日メ切		

日本事務所からのお知らせとお願い

里親募集中です！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。先月からは、若いご夫婦による、コロンビアでの働きも始まりました。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

インターンシップを 体験してみませんか？

メトロ・ワールド・チャイルドのインターンシップ(スタッフ研修)をおすすめします。

世界一の教会学校を展開していることには、やはり、それなりの理由があります。世界一のノウハウと、そのスピリットを体験すれば、必ず教会の働きのために役立ちます。

子どもたちへの働きは、時間も労力も掛かるものですが、大変効果的な種蒔きであり、子どもの家族にも影響を与えることができます。

英語の壁もありますが、日本からも多くの方に研修を受けていただきたいと願っていますので、ぜひご検討ください。

メールの重要なお願い。 必ず返信しています！

いただいたメールには、必ずご返事をしていきます。届いていますでしょうか？ 返事が届かない場合は、受信拒否設定になっています。

@マーク以下が、[docomo.ne.jp](mailto:metro@docomo.ne.jp), [ezweb.ne.jp](mailto:metro@ezweb.ne.jp), [softbank.ne.jp](mailto:metro@softbank.ne.jp), [vodafone.ne.jp](mailto:metro@vodafone.ne.jp) など、昔からの携帯アドレスをご使用の場合は、パソコンからの受信が拒否されています。

お手数ですが、携帯ショップで、メトロのアドレス metrojapan@mission.or.jp を、受信可能に設定してもらってください。

また、FAXの場合は、裏表の送信方向にご注意ください。

日本事務所よりごあいさつ！

ビル先生から、先月下旬に直接電話がありました。皆様の大変な犠牲による献金に支えられて、今回のOHHの働きは、何とか無事に終わることができそうで、心から感謝しておられました。しかしまだケニアのクリスマスが残っていますので、今からでも献金は受け付けています。

ビル先生の体調は万全とは言えませんが、ますます伝道の働きの意欲に燃えておられ、すでに2018年の世界ツアーのスケジュールも次々に決まっております。

できるだけ早くご案内を差し上げられるようにしていきますので、ぜひお近くのセミナーにご参加ください。

この1年も、皆様の日々の生活のあらゆる場面で主からの祝福と恵みが豊かに与えられますよう、お祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン